



学校教育目標 **自主 友愛 鍛錬** 教師も生徒も伸びる学校

＜2学期が始まりました＞ ～学習時間が多くあり、大きく成長できる学期です～

29日間の夏休みが終わり、静かだった学校に再び賑やかさが戻ってきました。私は、始業式の日の朝、登校中の生徒に「学校が始まったね」と声掛けしてみました。「もう少し休みが長ければいい」という応答を予想していたのですが、「始まってよかった」という声もいくつかあり、驚いてしまいました。「早く友達に会いたい」「学校生活が楽しい」ということだなど、自分なりにその理由を解釈し、うれしく思っています。

さて、登校日数の多い2学期が始まりましたが、始業式の校長講話の中で、私はスライドを使いながら、下記の内容を全校生徒に伝えました。(箇条書き)

- 2学期は登校日数が多く、学習する時間がたくさんある学期であり、大きく成長できる学期である。
 - 1学期は、落ち着いて学習に取り組む姿や集中して話を聞いている姿が常に見られ、素晴らしいと思う。
 - 授業を参観に来られたお客さんも、その姿を褒めてくださっているが、「積極的に質問したり発言したりする姿が多く見られるとよい」という願いもおっしゃっている。
 - 積極的に質問や発言をしていくことは、自分の力を高めていくことにとっても有効なことである。
 - 「恥ずかしい、目立ちたくない、間違うのが嫌だ」などの気持ちを捨てて、積極的に質問したり発言したりしていったらどうか。今までそうしてきている人は、それ以上に。
- (※蒔田晋時さんの詩「教室はまちがうところだ」を抜粋して紹介する)
- 1学期の姿から、本気になればなんでもできてしまう皆さんであると、私は思っているのだから、自分の授業中の姿を本気になって変えていったらどうか。
- (※お笑いコンビ・ティモンディの高岸宏行さんのネタ「やればできる」という言葉を紹介する)
- この言葉は、「やってみなければ何も変わらない」「まずはやってみること、動いてみるのが大切」だと教えてくれている。

分からないことを積極的に質問する
分かったことを発言したいつぶやきたいする

- ・伝えることに自信がつく
- ・深く理解でき、知識が定着する
- ・学級全体の学習意欲や参加意欲が向上する
- ・新たな発見ができる
- ・コミュニケーション能力が高まる

お笑いコンビ・ティモンディ
たかよし ひろゆき
高岸 宏行
「やればできる」



終わりに、「全員の積極的で活気に満ちた姿が、これからの授業で見られることを期待している」と伝え、話を終えました。

※校長講話の前半は、私の趣味の一つである「ジグソーパズル」の作品を紹介しました。作品の風景になっているのは青森県の弘前市にある「弘前城」です。私は青森県で生まれたので、それを紹介するために「弘前城」の作品を紹介しました。青森県に関するクイズ「青森県と言えば何の果物が有名か。①ブドウ②ミカン③リンゴ④イチゴ」を出題したのですが、簡単に正解を選んだことに驚いてしまいました。

ご家庭でも、折を見て、お子さんの授業での学習の様子を話題にさせていただけたらありがたいと思います。保護者の皆様には、2学期の教育活動にも引き続きご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。